

ほんにかえるプロジェクト 会報

2016年1月創刊

# かえるのうた

第19号 2020・1月



画：Gabrielaiko s.c.q.

ほんにかえるプロジェクト発行  
汪楠責任編集

立ち止まり振り返り見る来し  
方に我が影長くはつ春の朝

会長

田中 伸彦

師走の風が木立の葉をすっかり落とし、武蔵野の林に新たな年の陽光が降り注ぐ。

季節は巡り、いつの間にか2020年が明けてゆきます。

歳を重ねると月日の流れを早く感じると言われますが、確かに私も時の流れの速さに戸惑う日々を過ごしています。先日読んだ本の中に

「我々が皆、自分の不幸を持ち寄って並べて、それを平等に分けようとしたら、ほとんどの人が今自分が持っている不幸の方が良いと言って立ち去るであろう」という一節がありました。

それぞれがそれぞれに抱えている不幸は、その固有の重さと質を持つ故に平等に分け合う由もありませんが、世の中には想像を絶する苦悩があるという事は窺い知れます。

「ほんにかえるプロジェクト」から送られる本を読むことでひと時の安ら



ぎを得ている皆さんの中にも、気にかかる言葉を見つけ想いを深めている方もいらっしゃると思います。

読むたびに自戒の念にかられる言葉があります。

「脱皮できない蛇は滅びる。

その意見を取り換えていくことを妨げられた精神も同じだ。それは精神ではなくなる。」

令和の世になって揺れ動く世相に思い浮かぶ言葉もあります。

「社会は個人に対して、極刑を加える権利を有するように振る舞うが、社会は浅薄極まりない悪徳を持っていて、己の事を自覚する力がない。」

最後に気に入っている小説の中のひと言。

「人は誰でも月である。

誰にも見せない面をもっている。」

皆さん、今年も「ほんにかえるプロジェクト」から送られてくる本をお楽しみにしてください。新たな年に新たな眼差しを！





日曜日 14:00～14:55

2019年9月22日(日)放送 あらすじ

## 半グレをつくった男

### ～償いの日々…そして結婚～

半グレ集団＝暴力団には所属せず、  
犯罪を繰り返す集団。

警察庁は「治安を脅かす新たな反社会勢力」と位置づけている…“最凶”の半グレ集団と呼ばれ、中国残留日本人の2世・3世を中心に結成された「怒羅権(ドラゴン)」の創設メンバーである男は今、東京の下町で静かに暮らしている。

「相手を殴ってどんどん興奮して最後に日本刀で腕切り落として、それでも怒りが収まらずに首を切り落とそうとして、やっぱり切れなかったんだよね。硬くて…」

19歳で逮捕された時の話を穏やかな顔で話す男、汪楠(ワン・ナン)は、47歳になった。

現在は、受刑者や出所者を支援する活動を行なっている。それは汪楠の過

去の罪への償いでもあるのだ。非道の限りを尽した末に逮捕され、13年を刑務所で過ごした汪楠を救ったのは、1冊の本をめぐる裁判官の言葉と塀の外から届く手紙。汪楠は過去の罪を悔い、更生を誓う。

出所した汪楠は、全国の受刑者に本を送る活動を始め、出所者の「第二の人生」を支援する活動を続けている。

しかし、日本国籍を持たない汪楠は、就労することが許されず、受刑者支援の活動資金は、常に足りない状況だ。

そんなある日、汪楠が面倒をみていた出所者が、活動資金を持ち逃げしてしまう“事件”が起きる…それは、汪楠の婚約者が工面し、寄付してくれた大切な「50万円」だった。活動資金を失い、窮地に陥った汪楠の前に、持ち逃げした男が意外な形で姿を現すのだが…(フジテレビのホームページより引用)



**事務局長の汪楠**です。ご無沙汰しています。ほんにかえるプロジェクトは5周年を迎えることができました。皆様

のおかげです。心から感謝を申し上げます。

さて一部の内部会員はもうすでに視聴されたようですが、冒頭の引用でもわかるように、先日フジテレビの「ザ・ノンフィクション」という番組に取り

上げられ、放映されました。ほんにかえるプロジェクトの所在地と中国人名で察した内部会員も多くいますが、実は私はあのグループの初代でした。諸説ありますが、葛西中学校の在校生だった中国残留孤児 2 世の 12 人が設立し、現在に至っています。12 人のうち、最年少組は 4 人で、私はその一人でした。今は半グレと呼ばれていますが、当初は親が日本人でも日本に来たばかりで日本語もわからないので、中国人としていじめや差別を受けました。1986 年のことですからヤンキーがどこの公園にもたむろしていた時代で、江戸川区や江東区、そして足立区はいわゆるヤンキーの激戦区で、治安もとても悪かった。そのヤンキーらに特にいじめられ、抵抗していくうちに自分たちもヤンキー化し、暴走族が結成されるようになりました。校内暴力の被害者だった自分たち残留孤児 2 世は団結することでしか生き延びることができなかつた。いまでこそ白龍や愛死美絵無、鬼羅連合、荒武者などの元メンバーと飲むことがありますが、当時は壮絶な抗争を繰り広げ、多くの犠牲者を出しました。

私自身も両腕を折られることがあったし、性犯罪をも含むかなりの犯罪に手を染めてきました。中学生で自転車を盗んで補導され、暴走行為や準備集合罪、ナイフを持っていたから銃刀法違反。練馬の鑑別所には 7 回も入れられ、そして中等の新潟少年院に 13 か

月間入り、院内で中学校卒業して 20 歳で退院した。次は盛岡少年刑務所 (YB 級)、ここを出ても更生できずに、最後は岐阜刑務所 (LB 級) で 13 年務めました。

そんなこんなでみんなが大人になり、やくざになった人もマフィアになった人も今はほとんどが堅気になり、和気あいあいと安い居酒屋で飲むようになりました。この時の話題というのはい思ひ出話か、かつての友達の訃報が多い。

多くは覚せい剤で体を壊し、それが原因で命も落とした。元ヤンの間では更生という言葉をあんまり使わないかもしれない。落ち着くと言っている。あいつも落ち着いたという風に更生した友達を表現する。

今も犯罪なり、組織とかかわりを持つ者もいわゆる現役風を吹かす人はいない。俺も落ち着かなきゃならない歳なんだけどねという風に、本来はみんながまじめになるべきと考えているようです。

その地元の理解も含めて私は地元で拠点を置き、更生支援活動を展開し、皆様のおかげで 5 周年を迎えることができました。怒羅権では初代と数えられるが最年少である私はある先輩の私兵として葛西総本部に籍を置き、各地に遠征に行きました。府中の中学校に転向させられたこともあり、府中支部を設立し、神奈川の関内支部をはじめ、いくつかの支部にサラリーマン風に言

えば出向して、急成長して多くの支部を持つようになった怒羅権の勢力拡大に関わった。大阪ではあの方に会い、京都ではグランピアに常駐し、名古屋ではあの会に追い掛け回されたりと、博多では玄風館の焼肉にはまったことを思い出す。

岐阜刑務所を出たのは2014年5月。満期でした。満期日を忘れる日はなかったと言っても過言ではないのに、今はそれも忘れてしまった。過去を反省したとはとても言えないけど、後悔していることはたくさんある。

過去の自分と仲間の被害を受けた人がたくさんいます。自分が忘れても被害者は忘れていません。女性からも被害を受けた事件をメールでいただき、自分たちの罪の深さを意識させられることが多々あった。自分だけ真面目になったからもう過去として処理するにはあんまりにも偽善的で、欺瞞過ぎると思う。

ではどうしたらよいだろうか？その答えを見つけていないけど、見つけようとするのが大事と考えている。

見つけようとする過程で必要なのはほんにかえるプロジェクトであり、更生を支援する団体というより、私が更生し、私を更生させる活動であると定義している。

活動を始めるのは割と簡単である。やりたいと思えば始められる。でもいざ始めてみると、支援対象である受刑

者会員が求めているものは必ずしも自分が想定していたものではなかったことも多々ある。

本を集め、受刑者に贈るという活動を通じて受刑者と社会をつなごうと考えていましたが、ネット検索、SNSを利用した家族友人探し、アマゾンの購入代行といったサポートを求められ、活動範囲も支援対象人数も増えていきました。スタッフも多少は増えましたが、常にマンパワー不足に悩まされ、資金問題もとても深刻でした。

2018年に入ってから私の私生活も本格的に崩壊し、食べ物もなく、ホームレス支援用の乾パンをかじり、電気も止められた部屋で受刑者からの催促の手紙を読むような日々を送るようになりました。

会員のご寄付や年会費などの収入では固定経費の70%しか賅えず、それでも活動を続けなさいと叱咤されることにうんざりした。

今年に入ってから活動の基本である無償本提供事業もゆうメールの後納料金が払えなくなり、郵政省の基本運賃の値上げが致命傷になり、本を送る活動も停止した。

この窮状を救うために交際していた彼女が50万円を貸してくれて、これで活動を再開できると喜んでいたところ、自宅兼事務所に住ませていた出所者が団体の通帳と印鑑を盗み、数回に分けて40数万円を無断で引き出し、ついでに彼女の腕時計をコレクション

ケースごと盗みました。盗んでからも事務所の周辺を徘徊していた彼は室内で物色していたところ、結婚して私の妻になった彼女が帰宅し、トイレに入っているすきに彼女のバッグを盗み、外で警戒していた私に捕まっても、盗んだバッグを返そうとせず、盗んでいませんと答えました。私は彼を殺すことさえ考えた。でも数々の不義理をしてきた自分の過去を思い出し、ため息をつきながらも彼をもう一度助けることにした。妻が所有する安いアパートに他の出所者と住ませたところ、その人の荷物から 20 数万の作業報奨金を盗んで逃げました。この辺りは全部進行形の実話であり、テレビの取材中に起きた事件を匿名で放映された。

仮名ワタルは窃盗の前科があり、彼が残した荷物を半年も保管した後に、カビが生えてきたので処分することになり、初めて調べてみました。彼が就職活動と偽り私の妻から 20 万円も借りていた時期に発行した競艇場と雀荘とソープランドのメンバーズカードが出てきた。ただでさえ妻に迷惑をかけた私はこのことを妻に言えず、隠している。

活動が資金難で行き詰まり、私生活も崩壊した私を救ってくれたのは妻でした。彼女は 6 年前までスナックを経営し、多少の蓄えがありました。家族のいるカナダかアメリカに移住することを考えていた矢先に私と知り合い、老後を共にすると約束した二人は日本

に残ることにしました。時間もお金も費やすほんにかえるプロジェクトの活動を続けるかどうかについて真剣に話し合いました。私がこの活動をやる動機を理解してくれましたが、お金と時間をかけることに反対し、年間で家庭から持ち出す金額を決められ、そして時間も制限されることになりました。夫婦間の取り決めとして厳格に守られている。

妻は私の活動を支えるためにスナック経営を再開した。資金を出してくれる元ホステスの同僚をスポンサーに選び、スケルトンで物件を借り、内装は私が DIY でやりました。全員素人で工期が 3 か月以上に伸びました。私が街に戻ってくると聞きつけ、元ヤン仲間と近くの飲食店の同業者が差入や手伝いに来てくれて、本拠地の葛西から離れた南行徳という町で妻がスナックをオープンすることになりました。そして急に結婚式もやることになり、フジテレビ、NHK、フジテレビとテレビの取材が続き、週刊フラッシュ、フライデー、大衆も出ることになりました。マスコミには前々から接点があり、取材のオファーがたくさん来ていました。

個人的には知名度よりはまず実績を積み込むことを優先させたいので、断ってきましたが、PJ が 5 周年を迎えるにあたり、新たな戦略として、マスコミを利用して知名度を上げ、PJ の更生支援に対する読書という全く新しい取り組みを世に知らせ、より多くの理解者

を募りたかったゆえの選択である。

反響はとても大きかった。励ましのメールや電話が殺到し、スタッフとして活動に参加したいという申し出も24件も寄せられた。大変うれしいことではありますが、この活動はとても特殊で、まず受刑者の個人情報扱う観点からスタッフを採用するにあたり慎重さを求められる。そしてまたこの活動は多くの受刑者から対応が遅いとして指摘ないし批判されているという現状を踏まえて、善意だけでの参加は活動を長く続けられないという経験から、感謝されたいと思われる希望者に対しては他のボランティア活動を勧めて丁重にお断りした。新たに採用したのは3名だけである。この辺はスタッフ間で話し合うべき事項と認識していますが、私の独断と偏見で決めました。

発起人としてPJをここまで運営してきて思うことは多々あります。スタッフも人間です。意見の食い違いも当然生じます。それを話し合いで解決すべきという意見が正論と思います。しかしいつまでも結論の出ない会議に私もスタッフも辟易しています。皆さんがそれぞれ本職を持っています。家庭もあります。多忙の中のボランティア活動はスケジュール調整だけでも大変です。受刑者会員が350人になった今、嫌でも効率を求められるようになります。では問題点はどこかというところ、一番は私に問題があり、サラリーマンの経験もなければ運営の経験もありま

せん。加えてこの活動が特殊すぎます。たくさんの方のアドバイスをいただくのですが、実効性があるものはなかなかありません。実務の経験がない者は簡単に考えがちです。受刑者からも提案がたくさん来ています。残念ながら外の事情を理解していません。

こうしたらうまくいくのよと教えてくれるけど、肝心のこうやってくれるスタッフがいません。企業カウンセラーや工場のライン生産管理者も効率化についてアドバイスしてくれます。刑務所側の恣意的な内規変更にも振り回されることが多いこの活動は常にシステムの変更を強いられるのです。そしてスタッフは無報酬です。つまり命令することができません。能力もばらばらで、作業を細分化すると、完成させるための仕上げが大変すぎて、一人でやった方が早いとなってしまいます。

採用できる提案はすべて採用した今、皮肉にも会員数が激増したことで、私に代わって大半の実務を担当している庄子さんが提案した刑務所ごとと担当者を決める案が最有力。

そこでPJの今後について会員もスタッフも心配していると思います。

はっきり言って改革が必要です。私抜きでできることなら私が辞めたいくらいです。でも発起人としての責任があり、やめるわけにはいきません。

今後のことについては次号までにまとめておきます。

ご協力をお願いします。



誕生カードを  
お贈り  
しました

誕生カード  
担当  
M.ロザリア綾

「恐れるな、わたしはあなたと共にいる。」(イザヤ書 43 章 5 節)

クリスマス、お正月と、また新しい季節を迎えました。毎日、同じような日々の繰り返しのように見えても、時間は一直線。日々、新たです。皆様にとって良い一年になりますように！

10月、11月、12月生まれの皆さんにカードを贈りました。

下記の方々です。

**お誕生日、おめでとうございます！！**

10月生まれ N.U.さん、K.K.さん  
M.Y.さん、O.H.さん、Y.K.さん  
K.M.さん

11月生まれ Y.S.さん

12月生まれ T.U.さん、M.S.さん  
S.T.さん、J.T.さん、M.H.さん  
K.N.さん、T.Y.さん、M.A.さん  
O.S.さん



## 堀の中の食べ物特集

<夏の減塩対策と献立>

今夏は熱中症対策で 28 度以上で湿度が一定以上になったら(運動が)講堂になるなどの対策が導入されて、7、8 月は外で運動ができず(本来は外運動は 4 月～11 月)、今まで何十年も外でやっているのに。そのくせアイスは毎年暑い時に出さずに涼しくなってから出すし、3 月から湯茶を一人 1 日 2.1 リットルに制限したんです。しかも減塩対策(3 度目で、1 度目は醤油・ソースの撤去で小分けパック支給に、2 度目は汁物の量を減らし)、3 回目の今回は漬物の支給回数を減らし、塩分を減らしたのです。夏は水分と塩分を摂るのが熱中症対策になるのに、夏に減塩ですからね。

9 月下旬の献立を見ると昼夜 20 食中 4 品→3 品になったのが 12 回で、フルーツ(缶詰)3 回、汁無し 7 回(内ジュース 3 回)で、9/24 昼は肉うどん、もやし炒め、大根煮付け、9/25 夜、コロッケ、ほうれん草塩麴炒め、豆乳、9/28 夜は鰯梅煮、金平ごぼう、リンゴジュースのみです。おかずの一品量が少なく、例えば 24 日のもやし、大根の

は各 30~40g ほどしかありません。昔はフルーツもリンゴも 1 個とかぶどうとかちやんと出てたのに、最近は缶詰だけ。肉も牛や豚は肉の端のくず肉ばかりで大半は鶏肉ばかりですし、野菜も小松菜や青梗菜、インゲンばかり。以前と比べるとガクンと食事の内容が著しく悪くなっています。予算は同じなのにです。栄養士は何も考えず同じメニューばかり出すし、豚汁とかスープはしょっぱい(コショウだらけ)くせに南瓜スープは水で薄めて味がしなないです。本来醤油を 10 リットル使うところ、3 リットルしか使わないと聞きましたしね。から揚げなんて先日 1 年以上ぶりに出ました。

ここ半年間(183 日)の献立を見て驚いたのが、366 食中、パンや麺、カレーの日を除いた 296 食中、メインのおかずが次の 9 品です。①豚汁 12 回、②五目汁 11 回、③そぼろ煮 10 回、④青椒肉絲 14 回、⑤ニンニクの芽炒め 13 回、⑥回鍋肉 13 回、⑦野菜炒め 9 回、⑧焼き鳥風炒め 8 回、⑨ハンバーグ 12 回、計 102 回。つまり 34.4%が、この 9 品を占めています。ハンバーグは良いですよ。レトルトだから安心です。けどメインメニューが 71 種、サブが 97 種、汁が 25 種しかレパートリーがないんです。

集会もワンパターンです。去年の 10 月から今年の 9 月までの集会の菓子の内、同じものが頻繁に出ているのがわかります。1 回 3 品(36 品中)、プチ

ポテトうす塩 10 月・1 月、ポテルカ塩味 12 月・2 月・9 月、ポテロングうす塩 11 月・6 月、ほかにエアリアルしお味 4 月と、塩ばかり 8 回も出ています。同じものが 2 度以上でたのは 19 回で 1 回のみは 17 回です。食事にしても 1 日 1 人 520 円と予算は同じなのに、ここ最近ずっと著しく食事の質が低下していて、その分浮いたお金はどこへ消えているのでしょうか?



実はここ 3 回ほど、カレーの味が極端に薄いというか、味がしなないのです。とろみはあるのですが、カレーのルーを減らし、片栗粉でとろみを出して、ごまかしているのです。なので、星の王子さま(※)よりももっと味が薄いのです。肉もこの一年以上前から、ポトフの肉は 1cm 大のかたまり肉だったのが、バラ肉のスライスの端っこの「くず」の部分ばかりを使い、まるで鉄腕ダッシュの“0 円食堂”で捨てる肉を貰ってきたのを使っているような感じの肉なのです。他にも漬物、汁物をカットしたり、おかずも大半はでき合いを使い、手抜きが多く、ケチってるなど感じる人が多いですよ。味噌汁の具に青梗菜か小松菜を使う位です。ここの得意な具は、インゲン、ワカメ、ごぼう、レンコン、小松菜、青梗菜、青菜、キクラゲ、ちくわ、麩、高野豆

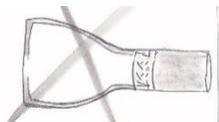
腐です。もう一生分は食べましたね。

(笑) レタスなどやきゅうりは最近食べたことがなく、葉もののサラダが高いからでしょうかね。プリンもヨーグルトもここ一年食べてませんし、カップ麺も出なくなりました。

でも先日コーンスープが出たのですが、クノールとか本物のうまいレトルトのが出たんですが、めっちゃ旨くて、お〜ガストのサラダバーのコーンスープを思い出し、クルトンをめっちゃやいたくなりました。(笑) 今まで出ていたコーンスープがニセモノだったと判明した瞬間でした。でもでき合いとかレトルトは味が良いので、その点は安心ですが、ジュースとかこういうものをよく出すせいで、予算が高くてケチるのでしょう。

※「カレーの王子さま」(離乳食用のカレー) かな？

## <減塩対策と調理法>



7月1日から突然“減塩対策”(成人病予防の為とかで)を始め、ただでさえ味の薄い食事が更に味を失くし、その上、今まで自分達が楽をするために出していた漬物(作ることがないから)の数が多いとかで、漬物を減らし、3品出していた“おかず”が2品の日も(怒)。

告知では、それに変わるものを出すと saying it was fine with a lie. 先日出た“肉ジャガ風”など、ただでさえ肉ジャガ“風”で、分類すれば汁物で、肉も芋も殆どなく、やたらでかいニンジンばかり入っているのに、それからも塩分をとり、まるで味もなく、汁も白い肉ジャガ風。食べて吐きました。(笑) 本当に酷いです。これから夏で塩分が必要だというのに逆行しています。

汪さんが「蒸し料理しかない」といったそうですが、ここは昔(10年前くらい)は、魚も揚げ物も天ぷらもちゃんとありましたが、今は全て蒸気で料理している様で最悪です。フライヤーという機械も高い金出して、税金で付けた様ですが、廃油が流せない?とか何とかで使用していません。馬鹿です。だから、とんかつ、コロッケなどはみな揚げないで作れるものらしいですよ。調理は炊場工場の受刑者が作りますが、メニューは全て調理師が決めていて、同じものの繰り返しで、職員が「あれが変わんなきゃダメだな!」って言う程の人です。本当、同じ食材使って少しでも旨く、ではなく、少しでもマズくしてますよ。

今はアイスです。毎年カップアイスが2~3回、チューチューアイスが5~6回でるのですが、今はまだカップ1回、チューチュー2回しか出していません。しかも30℃以上ある日に出ないで、雨の肌寒い日に出すという、本当に意地悪い。

## <僕たちの楽しみ>



僕の刑期も9年が過ぎ、残刑2年です。ここまで来たらもう後戻りはしたくありません。出所へ向けて確実に一歩一歩進みたいです。現在は10/1から始まるソフトボール大会へ向けて楽しみな所です。僕は球技がうまくありませんが、チームに入って楽しんでます。試合のメンバーに入れるかはわかりませんが、楽しく皆でやれたら良いと思います。勝負なので、勝ちを目指すとしても、皆でまとまり団結して楽しめないという意味がないと思うのです。

さて、9月は14日、21日と2週続けての集会でした。

9/14 [ロツテカスタードケーキ] [もろこし輪太郎][ポテチ関西だししょうゆ] 497円、

9/21 [ハーベスト香ばしセサミ] [チョコバウム] [ペプシコーラゼロ 340ml] 394円

また9月は16日「敬老の日」、23日「秋分の日」と2回の祝日がありました。

9/16 [カステラドーナツ・5個入]、  
9/23 [特濃ミルククッキー・1箱 (12枚入)] 祝日・休業日には映画放送もあり、それも楽しみのひとつです。

9/21 「ディアフター2020 首都大凍

結」、9/22「ラストミッション」、9/23「日本のいちばん長い日」

僕は子どもじみっていますが、お菓子や映画を楽しみに日々ガマンして生活しています。他に受刑者全員の関心事として、食事です。これが楽しみというのも悲しい現実です。

ところで当所では月6回のパン食で、ぜんざいが3回あります。先日ぜんざいでしたが、とろみがなくシャバシャバで残念でした。他に当所での甘味品としては [はとこ煮] [レーズンきんとん] [りんご重ね煮] [パイナップル重ね煮]

[マカロニきな粉かけ] [南瓜グラッセ] [大学芋] [いとこ煮] などがあります。ちなみに当所では、ソフトボール大会ではお菓子は出ません。

## <少年刑務所の食事>



S 少年刑務所へ来て4か月経つたのですが、毎日の食事がおいしくて、しかも若い人の刑務所だけあって量が多いのと油ものなど、フライものが多い、恥ずかしいことに、残さず食べていて、遂に6キログラムも増えてしまいました。PCの前に座りっぱなしのせいもあります。又元の刑務所にもどると、立ちっぱなしの忙しい生活になるので、やせるでしょう。

## 日本の生活と共にある和菓子



その歴史 最終回 作田ゆう子

【国産砂糖 和三盆の普及と

大名菓子の成立】

18世紀にはいると、四国の高松藩や徳島藩で、サトウキビの栽培と和三盆糖の生産が始まります。その結果、17世紀後半には、日本三大銘菓のうち、『長生殿』『越乃雪』が作られていきます。ちなみに、日本三大銘菓は、『長生殿』『越乃雪』および『山川』です。いずれも大名の贈答菓子であり、茶の湯の薄茶席のお菓子として使われる、落雁のお菓子です。

たとえば、加賀（現富山県）の『長生殿』は藩の製菓業の奨励政策によって考案されました。もともと、落雁は兵糧としても使われました。また、越後（現新潟県）の『越乃雪』は、長岡藩9代藩主・牧野忠精公（ただきよこう）のお声がかかりです。

さらに19世紀に入って、出雲（現島根県）の『山川』は、自身が不味流の茶道の祖となられた松平不味公（ふまいこう、または本名治郷公：はるさどこう）が、自ら考案して作らせたもの。これら、日本三大銘菓の発祥は、国内で砂糖の流通が盛んになったことと大きな関連があります。

## 江戸時代の庶民のお菓子

【庶民のお菓子の発達】

武家の参勤交代で、五街道などの交通が整えられました。また、商業の発達や、伊勢参りなどの流行により、庶民が移動することも多くなりました。そこで、交通の要路には、腹持ちの良い名物餅が発達していきます。

古いところでは、東海道の四日市のなが餅があります。こちらは、16世紀半ば、戦国時代の発祥で、かの藤堂高虎の好みの菓子でした。また、有名なものでは、東海道・静岡府中の安倍川餅が江戸の初めにできました。徳川家康が安倍川の岸辺の茶屋に寄った時に献上したもので、17世紀初頭の菓子です。貴重な白砂糖を使った、高価なお菓子（5文）でした。

【18世紀の庶民のお菓子】

18世紀の庶民の菓子の一例として、大福もちの歴史を紹介しておきます。大福は、江戸初頭の17世紀には、うずら餅と呼ばれていたものです。ウズラの成鳥をかたどった大きな餅で、腹持ちがいいので『腹太餅』と称されるようになりました。塩餡でした。18世紀半ばに、江戸・小石川の未亡人が、サイズを小さくし、『大腹もち』としましたが、次第に字面の良い、大福もちと呼ばれるようになりました。小豆にはビタミンBが含まれて疲労回復にもよく、砂糖を使うと高価になるので、昭和になっても塩餡の大福がつくられていました。18世紀後半には、寺の門前

で、桜餅も考案されています。

## 明治から現在まで一砂糖の大衆化

さて、日清戦争後、日本領となった台湾や南洋の島々で、砂糖の生産がさかんになり、砂糖は庶民にも身近なものへと変貌していきます。

### 【甘いお菓子の普及】

また、軍隊の補給食として、キャラメルやチョコレートが導入され、庶民にも知られていきました。これらも、和製のお菓子という点で、広い意味の和菓子に含めることができます。そして、西洋から新しいお菓子が紹介されたことで、羊羹をカステラ生地ではさんだシベリアなど、和洋折衷のお菓子も考案されていきます。明治末期から、大正にかけて、どこのパン屋でも作っていたという記録があります。また、せんべいにも、従来の和風の味付けだけでなく、サラダ油を使った、サラダ味なども考案されました。たい焼きは明治期に今川焼から作られました。なお、どら焼きの老舗は、大正期の創業が多いようです。

砂糖との関係では、昭和時代の太平洋戦争が終わってしばらくするまでは、大福やおはぎなどは、依然として高価な砂糖をさけ、塩餡で作られることも多かったようです。

また、いちご大福は、20世紀末と、わりあい近年の創作ですが、生クリームと生のイチゴを餡とともに餅皮で包んでいて、洋菓子の影響を多大に受けています。

駄菓子やスナックの世界でも、日本のオリジナル菓子は、世界で人気です。

たとえば、イタリアのプレッツェルから考案したブリッツやチョコレートコーティングのポッキーは、アジア圏でも人気です。これを西洋菓子とは呼びません。

こうしてみると、和菓子とは、「西洋のオリジナル菓子を除く、すべての日本のお菓子」ともいえるでしょう。砂糖という観点を切り口として、和菓子の歴史を一通り見てまいりました。

次は、日本独自の喫茶の習慣に触れて、和菓子の歴史のご紹介のまとめ、といたします。

### お茶にしましょう

#### ——和菓子のある暮らし——

和菓子の発達と、砂糖やお茶との歴史的つながりを中心にご紹介してきました。日本のお茶の習慣は、食事とは独立して育ってきたといえます。西洋では、主に、お菓子は、食後のデザートとして発達しました。イギリスのティーの習慣も、軽い食事としての性格が強く、その点で、中国の点心の習慣と似ています。

一方、日本のお菓子は、茶の湯の文化とあいまって、一服する習慣、一休みして甘いものを楽しむ習慣であるといえましょう。洋菓子よりも、ひとつが低カロリーで、リラックスと笑顔を運ぶお茶と和菓子。

このように、素敵な日本文化をこれからも伝えていきたいものです。



## 動物好き

Gabrielaiko s.c.q.

ライオンが一番好き、何故か解らない。百獣の王とか言うけれど、虎に比べれば毛皮も貧相である。虎の赤ちゃんは抱っこしたいと思わないが、ライオンの赤ちゃんを抱っこするのは、私の叶わぬ夢の一つである。

旅先で立派なタテガミ（剥製）のライオンに触れる機会があり、感動して写真をとってきた。「凄いでしょ！」見せても誰も感動しない。ならばアフリカに行くか、と考えたが、諸条件がかみ合わず今では諦めている。

物好きはどこにでもいて、ライオンと虎はどちらが強いか戦わせて見た。虎の爪がライオンのタテガミに引っかかってとれなくなった時だけ、ライオンが勝ったという。

子供の頃からお祭りにサーカスはつきものだ。数年前ロシアの立派なサーカスが横浜にかかった。同好の士と見に行った。細目は気にしなかった。現代的なピエロは楽しく、小動物もよく訓練されていた。空中ブランコなんて、うっとりして見上げていた。

場内放送がアナウンスする。只今から虎の曲芸になります。動くものを追っかける習性があります。皆様、席をた

たないでください。お子様はお手元にお願いします。声を出したり拍手などしないでください。

フロアにはステンレス製の細いパイプが何本も立ち並んで円形の檻がつくられた。4mの高さはあるが、天井は無い。もし虎が脱出を試みれば、立ち上がった1頭の肩に飛び乗り、容易に柵を飛び越えられる。こんなに前ではなく2階席にすればよかったと後悔しても遅い。いよいよになれば、虎の餌食になるか、古代の殉教者が獅子の餌食にされたように。

観客席のライトがおとされる。そこへ虎が1頭ずつ堂々と優雅な足どりで入ってくる。12頭。野性の崇高さ、精悍な闘争本能を秘めている。

“瞬きするんじゃないわよ” “目も動かさないでよ。” 緊張の鎖帷子を着ているように固まっていた。サークルの中には虎使いが一人だけ。12の台座にそれぞれが座る。なかでもボスらしい大きな虎が片手を挙げて反抗する。あの一撃で人は致命傷をおう。指示棒状の物を近づけてコントロールしようとする。虎が静かになった。電流が流れているに違いない。ちょっと安心。ファイナレは虎使いを中心に6頭ずつが9時15分の針のように一直線に整列した。右側は12に向かって、左側は6に向かって行進をはじめた。圧巻！

トラウマになったようで、今でも畏怖と緊張がみずみずしくよみがえる。



汪楠さんが出所してすぐの頃私はマザーハウスで彼に初めて会いました。

そのころ、出所した人の中には常識に欠けた人がいて、「あれをやらしてもらえないか、これしてもらえないか」と人が動いてくれるのが当たり前のような人がいました。

問題が解決すると、「神様は素晴らしいです」と証をします。目に見えない神は目に見える人間を用いて解決されます。私達には尽力された方が想像できましたが、その方の名前をその人は言いませんでした。

それで会合の時、私は「長年刑務所にいたせいかな非常識な人が多いですね。」と言ったのです。

すると色白の青年が、「はい。非常識だから、犯罪に走るのです。」とニコニコ笑いながら言いました。

それが汪さんでした。

汪さんの犯罪を知ってびっくり。常識を超越！3億の泥棒で部下を養っていたとか。

毛沢東を支持していた父上は外科医で、毛沢東の死後中国にいられなくなり、産みの母上は中国に残り父上と残留孤児の日本人の第2の母と姉と日本に14歳の時に来たそうです。そんな話を聞きながらシスターと私は昼食を食べにゆきました。出所した人にはいつも私たちがおごっていました。

そこで14歳の少年が日本人にいじめられ、いつもなぐられていたから、殴られる前に殴るようになったと聞き私は日本人としていじめの行為を恥じ申し訳ないと思いました。そして国籍がないため働いてはいけないことも聞き、働かないでどうして生活できるのか、日本人でないから、生活保護も受けられない、それで悪いことはしてはいけないのだから、どうして生きてゆくの？日本の法律もひどいなあとと思いつつ食事をしていると、汪さんがリュックの底から現金10万をつまみだし、「あ、ここにあった」「忘れてた！」

10万円を忘れてたなんて！非常に裕福ではないか？それなら、「自分の食事代は自分が出します」と言うのが常識なのに、平気な顔。彼の弁護士さんが週3日雇って下さり10万円くださってるのだそうです。姉上が3LDKのマンションに住ませ姉上の整骨院の保険事務をしてそこから収入があるそうです。その頃ほんにかえるプロジェクトを作りましたが、3年経って弁護士事務所は契約が切れ姉上もマンションを貸しに出し、汪さんは戦後すぐ建てられた木造の2階建てに越しました。収入もなくフードバンクからの支給食で10キロ痩せたどん底で伴侶を得たのですから神は見守っておられます。約束の時間に遅れたり、時に嘘をついたりしても憎めないのは、彼が自分のワルをかくさないからです。



## 編集後記

新しい年 2020 年が始まりました。世界中の皆が平和を願っています。

表紙の絵は井手シスターにお願いいたしました。解説をお寄せくださいましたので記します。

“ユダ族の獅子 黙示録 5 章 5 節 キリストのことです。ライオンはすべてを勝利に導くキリストのシンボルでもあります。私がライオンに魅かれる理由の根拠と言えるでしょう。色紙に手が動くままに一気に描きましたものです。”

12 月 4 日に中村哲医師がアフガニスタンで銃撃を受け亡くなられたことは深い悲しみです。

私の身近ではルイ・ロゲ神父がスイスに帰国なさる時、「安く死ぬために帰国します。」と明るく、面白くおっしゃいました。ベトナム人の家族が大勢お世話になりましたと挨拶されました。

「日本に来た時は 17 歳だったのに、白髪がふえてきました。神父がご自分の近くに家を借りて住まわせてくださったので今ではどの家族も子供 3 人孫 5 人になりました。」と。ルイ神父の 43 年のボランティアのみのりをこの目で見せてもらいました。中村医師もルイ神父も愛の人です

アキ

ほんにかえるプロジェクト  
会員募集  
正会員年会費(10~9 月)  
3000 円

寄付もよろしく願っています。

### 振込先

ゆうちょ銀行 10160-86239211

他行からの場合

ゆうちょ銀行 018 支店

(普通)8623921

口座名義 ほんにかえるプロジェクト

### ボランティアスタッフ募集

在宅のままできる

パソコン入力者・文通スタッフ

自宅住所は公開しません。

プライバシー保護に細心の

注意をはらっています。

### かえるプロジェクトの

#### 出版物・印刷物

汪楠著「我的童年」500 円

汪楠著「獄中書簡」500 円

絵ハガキ 1 枚 60 円

絵入 A5 便箋 10 枚 100 円

絵入 A5 便箋 10 枚名入り 150 円

売上金は PJ の活動資金になります

### 発行所

〒134-0003

東京都江戸川区春江町 5-15-31

ほんにかえるプロジェクト事務局

電話 080-8811-5465